

CASBEE-新築(簡易版)2010年版

伊根中学校

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)201

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.4
Q1 室内環境			0.40			3.3
1 音環境		3.0	0.15		-	3.0
1.1 騒音		3.0	0.40		-	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00		-	
1.2 遮音		3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能		3.0	0.30		-	
2 界壁遮音性能		3.0	0.30		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20		-	
1.3 吸音		3.0	0.20		-	
2 温熱環境		3.0	0.35		-	3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		-	
1 室温		3.0	0.60		-	
3 外皮性能		3.0	0.40		-	
4 ゾーン別制御性			-		-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20		-	
2.3 空調方式		3.0	0.30		-	
3 光・視環境		3.0	0.25		-	3.0
3.1 屋光利用		3.0	0.30		-	
1 屋光率		3.0	0.60		-	
2 方位別開口			-		-	
3 屋光利用設備		3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-	
2 屋光制御		3.0	1.00		-	
3.3 照度		3.0	0.15		-	
3.4 照明制御		3.0	0.25		-	
4 空気質環境		4.2	0.25		-	4.2
4.1 発生源対策		5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質	内装使用材料は規制対象外材料を使用	5.0	1.00		-	
4.2 換気		3.6	0.30		-	
1 換気量	建築基準法及び学校環境衛生基準を満たす換気量の1.4倍以上	5.0	0.33		-	
2 自然換気性能		3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-	
4.3 運用管理		3.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-	
Q2 社会性			0.30			3.4
1 機能性		3.7	0.40		-	3.7
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40		-	
1 広さ・収納性			-		-	
2 高度情報通信設備対応			-		-	
3 バリアフリー計画	バリアフリー法の移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満足	4.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30		-	
1 広さ感・景観	教室天井高3.0m	5.0	0.50		-	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画		3.0	0.50		-	
1.3 維持管理		3.0	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31		-	3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48		-	
1 耐震性		3.0	0.80		-	
2 免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	2種類以上のB使用、Eは不使用	5.0	0.15		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-	

2.4 信頼性			3.2	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備	光ケーブル・メタルケーブル(ADSL専用回線)等に対応可能な配管	4.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.3	0.29		-	3.3
3.1 空間のゆとり			4.2	0.31		-	
1	階高のゆとり	階高3.9m	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.30		-	3.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		植栽等により良好な景観を形成	5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.1
LR1 エネルギー				0.40			3.2
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.5	0.20		-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	木質ベレットストーブ採用	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			3.6	0.30		-	3.6
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=11.7%	3.0			-	
集合住宅の評価						-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.0
1 水資源保護			3.0	0.15		-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.63		-	3.0
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境				0.30			3.1
1 地球温暖化への配慮			3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33		-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.60		-	
2	砂塵の抑制		3.0	0.20		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.20		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光源のワットが低いLEDを採用、広告塔の照明なし	5.0	0.70		-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	